

「海の学校」に入学しました！

日付：2024年8月22日（木）

場所：真鶴町立遠藤貝類博物館 (<https://www.endo-shellmuseum.jp/>)

参加生徒：2年生6人、1年生2人

夏休み終了目前の8月22日、神奈川県真鶴町にある真鶴町立遠藤貝類博物館にて、「海の学校」に参加しました。海の学校とは「三ツ石海岸を訪れるみなさんが海の生物や自然を楽しむことのできる体験学習の場として始まった教育普及事業（パンフレットから引用）」のことです。厚木高校では初めての企画として、今年度は生徒計8名が参加しました。当日の写真とともに、プログラムを振り返ってみます。

9:45 博物館到着



前日の予報では雨でしたが見事に晴れました！生徒のみなさんの日頃の行いが良かったようです。ちなみに夏休みの宿題が終わっているかどうかは怖くて聞けませんでした。

9:55 講義開始



見てわかるとおり講義場所は外！見晴らしの良いテラスでの講義は新鮮でした。風が気持ちよかったです。今回の企画では特定非営利活動法人の「ディスカバーブルー」のスタッフの方が講義やフィールドワークを担当してくださいました。



講義では

- ・日本社会での海についての認識
- ・ディスカバーブルーの活動内容
- ・真鶴の海
- ・海の生物について

などなど、「海」にまつわる話をたくさんしていただきました。普段の授業では学べない内容だったので、本当に面白かったです！

10:45 磯へ移動



海洋生物採取のために各々着替え、バケツと網を持って磯へ移動します。移動中の景色も素晴らしかったです。

11:00 磯に到着



いよいよ生物採取の時間です。生物の見つけ方をレクチャーしていただき、採取開始です。



各々が磯で生物を見つけていきます。石をひっくり返したり、魚やカニを行き止まりに追い込んだり、ナマコを手づかみしたりと様々な方法で捕まえていきました。中には膝上まで水につかり、採取に熱中していた生徒もいました。天候が良く、スタッフの方も「今年一番採取しやすい気候でした」と言っていました。

12:00 海の生物の解説

採取した生物について、スタッフの方が解説してくれました。



採取した生物を分類している様子。



分類後の様子。右のトレーがやや不気味です。



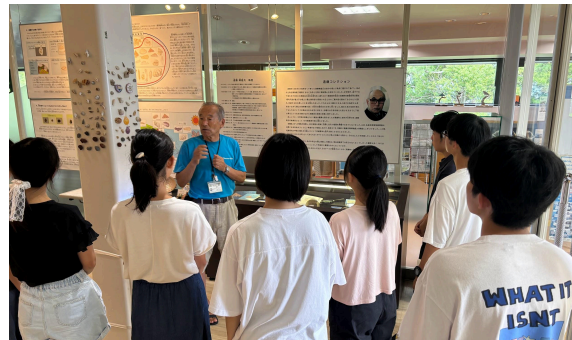
解説を聞いて、実際に触ってみました。みんな恐る恐る触っていました。

実際の生物を見たり触りながら聞く解説は、本やインターネットで得る情報とは一味違い、理科を学ぶ上で大切なことだと改めて感じました。採取した生物は海へ戻しました。

解説後はテラスに戻り、昼食をとりました。

13:20 博物館見学

遠藤貝類博物館の中を解説してもらいながら見学しました。博物館創設者の遠藤晴雄さんについてや、貝にまつわる様々な話をしてくださり、「貝」の奥深さを感じることができました。「時間が無くて見足りない！」と嘆く生徒もいました。



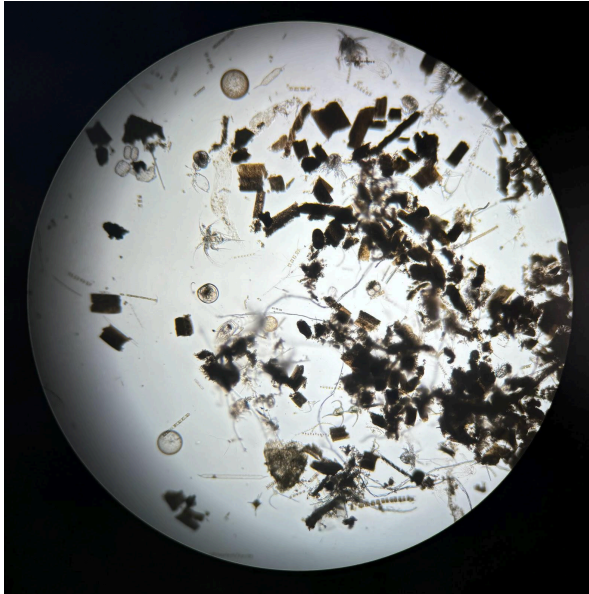
見学の様子。みんな「貝」に釘付けです。

14:00 プランクトン観察

テラスに戻り、顕微鏡を使ってプランクトンを観察しました。



顕微鏡での観察の様子。屋外で顕微鏡を使うのは新鮮でした。



顕微鏡で見たプランクトン。
実際に動いている様子も観察できました。
←この画像、どれがプランクトンでしょう？

15:00 終了

最後に少し講義をしていただき、すべてのプログラムが終了しました。

心配だった天候にも恵まれ、非常に充実した一日となりました。講義の中で「海全体について知っている人が少ない。知らないことすら知らない。」という話があり、特に印象に残っています。日本は島国であり、海に囲まれた環境です。海とともに生きていかなければならないからこそ、もっと海について知っていかなければいけないと思いました。学校の授業では教えてくれないからこそ、この企画に参加した生徒は今回得た知識や考え方を大事にしていてもらいたいと思います。最後に参加した生徒の感想を載せますので、ぜひ読んでみてください。

- 昔家族と真鶴には何度か行ったことはありますが、今回は博識で丁寧な説明のため、見た事があるけど分からない、見た事も名前も知らないような生物の名前が分かり、とても有意義な時間を過ごせました。神奈川の山間部に住んでいて、あまり海と関わる機会がありませんでしたが、多様な生物が存在し、相互に生態系を支える海の楽しさを改めて感じました。
- 「日本は島国なのに、海に対する関心が低い」と言われたことが印象に残っています。海の豊かさを守るために、地球温暖化についてできることをしていきたいと感じました。実際に磯で生き物を採取したり、プランクトンを顕微鏡で観察したり、たくさんの貝の展示を見たりと、とても楽しく、またこれからの海との関わり方を変えていこうと思える行事でした。
- 実際に磯で生き物を採取したり、学芸員の方から採取した生き物の名前や特徴を聞くのがとても楽しかったです。磯にいるカニだけでたくさんの種類があることに驚き、改めて海の生物多様性の保全が、いかに大切かを再認識しました。
- 磯で行った生き物探しが特に楽しかったです。また、講義では海と関連付けて迫って来ている環境問題などについて、知ることができました。

- 海の生物について知らないことばかりで、観察したり話を聞いたりできてとても面白かった。特に貝類博物館で貝の育ち方や暮らし方など様々な面白い特徴を知ったことが印象に残っている。また、実際に磯に行ってみて、1つ1つの石の裏にたくさんの生き物が住んでいて海の豊かさを知ることができた。
- 海に行ったときに貝や魚を見るが、その詳細はよく知らなかったので、今回のフィールドワークで知ることができ、とても良い経験になった。
- 生物採集では、名前は知っていたけど見たことがない生物をたくさん見ることができたのですごく貴重な経験になりました。博物館では、珍しい種類の貝もありとても綺麗でした。プランクトン観察では、色のついたプランクトンを見つけることができてとても楽しかったです。
- 普段あまり自分から行こうとしなく、家の周りでも触れられないので非日常感を感じられ、加えて生き物の生命としての素晴らしさが改めて実感できることができたのでよかったです。